

1 日時 2021年10月18日(月)14:00~16:30

2 会場 オンライン

3 テーマ 三遠南信地域の魅力創造と情報発信—選ばれる地域となることを目指して—

4 目的

三遠南信地域では、これまでに地域資源を活かした地域づくりや定住・交流促進が図られきたほか、様々な取り組みを通じて、地域内外とのつながりを深めてきた。

新型コロナウイルス感染症拡大・蔓延により、今後はコロナ収束後を見据えた新しい視点で地域づくりに取り組むことが求められるようになる。

そこで、今回の住民セッションでは、様々な分野で活躍する実践者と参加者がともに三遠南信地域が持つ魅力や価値について語り合い、多様なニーズに応えられる地域のあり方やこれからの地域づくり活動を議論する場とした。

5 プログラム

開会あいさつ

趣旨説明

第1部 事例発表

[発表①] 「Iターン第2世代といなか暮らし」

井上双葉氏(有機農業生産者/阿南町・南信州)

大脇元氏(NPO法人てほへ/東栄町・東三河)

[発表②] 「オンライン観光ツアーの実践と可能性—オンラインジオツアーを事例として—」

長野裕紀氏(浜松・浜名湖ジオパーク研究会/浜松市・遠州)

[発表③] 「NPO・企業の協働事業化と中間支援活動—中山間地域ボランティアの可能性—」

飯田瑠己氏(浜松市市民協働センター/浜松市・遠州)

[発表④] 「地域の魅力創造と動画プロモーション」

小林成彦氏(采映像制作/浜松市・遠州)

第2部 意見交換

総括・閉会あいさつ

6 事例発表・意見交換要旨

(1) 事例発表

■発表① 「Iターン第2世代といなか暮らし」

- ・高校卒業後に戻って来たかった。祭りや人とのつながりがとても好きで、ここで生きていきたいという思いがあった。同世代は出て行ったまま戻ってくる人は少ないのは残念である。
- ・1年を伝統芸能のサイクルで生活している。生活のそばにあるもので何より意味がある。

厳冬芸能を通じて地元の方と距離が縮まる。

- いなかでの暮らしで一番嫌なことは、人が減り、空き家が増えていく点だが、安心して暮らせて静かで自分の時間を持つことができ、都会と比べて不便もなく暮らせるようになってきた。
- インターネットがあるおかげで、野菜等の物品販売やコミュニケーションをとるのも楽な時代になった。

■発表② 「オンライン観光ツアーの実践と可能性—オンラインジオツアーを事例として—」

- 遠州の地形や自然環境を活かして、地域資源でもある国産ピアノの足跡を追う対面ツアーが開催できる。
- 天竜川源流の諏訪湖、伊那谷、天龍峡地域、下流域等から同時にオンライン中継するしてオンライン天竜川ツアーの開催も可能である。
- それぞれの地域で天竜川に抱くイメージが異なるので、それを共有することで良質な学習機会となり地域の魅力を伝えるツアーとなる。

■発表③ 「NPO・企業の協働事業化と中間支援活動—中山間地域ボランティアの可能性—」

- 中山間地域ボランティアが地域を訪れて知る機会になり、また移住のきっかけの可能性もある。
- 企業のCSRやSDGsは中山間地域のボランティアのニーズに近く、連携をサポートできる。
- ボランティアと体験は親子連れにとってもニーズがあり、地域の魅力を伝える可能性が高い。
- 一人でも多くの方が地域に関わり、地域を知ってもらい、地域の人と関わることで中山間地域が元気になる。

■発表④ 「地域の魅力創造と動画プロモーション」

- 暮らしと密接した風習や祭り、農村景観など、地域文化や地域らしさがなくなってきているので、映像、音声、写真などをウェブサイト、SNSを使って世界や日本中に発信し、地域の遺伝子を残せるような記録媒体づくりを提案する。
- 県を越えて他の県の情報が全く入ってこないなのでSNSを活用する。
- それぞれの地域での暮らしぶりを魅力の1つと捉えて、三遠南信全体でインターネットなどを通じて情報発信し魅力を伝えることが必要である。

(2) 意見交換

- 暮らしはそのまま生き続けいつも進化している。今生きているものが本物でそれを見てほしいし、現地に来て地域の人と交流してほしいと思っている。ここで人のつながりができて交流人口や移住者が増えていく可能性がある。
- ボランティア活動、地域で頑張っている方々の思いや取り組みは、郷土愛を何とか持ちながら継続することはわかった。しかし郷土愛だけでは生活できない、この地域に関われたい、ましてや県境を越えてという話になると、どのようにして収入を得ながら活動するかを考えなければならない。仕事として地域の魅力を発信していることは素晴らしいことで、三遠南信はそういった仕事ができる可能性のある地域でもある。

- ・三遠南信の魅力は自然だけでなく、それぞれ今生きている暮らし方のようなものも魅力の1つだということが実感できた。これを映像やオンラインツアーなどの形で発信していくことは必要である。

7 当日の様子



[発表①] 1ターン第2世代といなか暮らし



[発表②] オンライン観光ツアーの実践と可能性ーオンラインジオツアーを事例としてー



[発表③] NPO・企業の協働事業化と中間支援活動ー中山間地域ボランティアの可能性ー



[発表④] 地域の魅力創造と動画プロモーション



参加者一覧